



# 隠岐ジオパーク新聞 (平成25年6月号)



## 隠岐ジオパーク新聞の発刊にあたって

日頃より、隠岐ジオパーク推進協議会の活動に対しましてご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。さて、私も協議会では、世界的にも貴重な資源がある隠岐の魅力を知り、そして隠岐の出身であることの“誇りを持って”伝えていただきたいという願いを込め世界ジオパーク認定を目指しております。残念ながら昨年9月の世界認定は保留となりましたが、継続審査中で、世界ジオパークネットワークより認定のための4つの宿題が提示されています。

現在、宿題に対する回答書を協議会事務局で作成しており、この回答書をもとに本年9月の国際会議において再度世界認定の審査が行われる予定となっております。

世界ジオパークへの認定は、隠岐に貴重な資源があるということも重要ですが、私たち自身が隠岐の価値を知り、隠岐ならではの資源を活用した地域振興の活動も求められています。

隠岐にはどのような魅力があるのか？協議会や各地域でどのような活動が行われているのか？を皆様にお知らせするために、今月より毎月「隠岐ジオパーク新聞」を発行いたします。なお、新聞の原稿につきましては行政関係者だけではなく皆様にもお願いしたいと考えておりますので、ご協力をお願いいたしまして発行のご挨拶とさせていただきます。



隠岐ジオパーク推進協議会  
会長 松田 和久

## ジオサイトの紹介

※ジオサイトとは、ジオパーク内で地形や地層などを観察できる場所です。

### 「海士町」



明屋海岸

明屋海岸は中ノ島の北東部にあり、西ノ島から島後までの島々が見える景観の良いところです。夏の午前中は青い海と赤褐色の断崖と屏風岩のコントラストが特に見事です。

明屋海岸には「神様がお産した場所である」という伝説があるのですが、実は明屋海岸は噴火口であり、中ノ島北部の農地となっている土を噴出した場所でもあるのです。神様のお産と大地が生まれた場所が一致しているという事は、先人は太古の大地の活動を理解していたのでしょうか。明屋海岸は菱浦から路線バス、定期観光バスで行くことができます。

「海士町教育委員会」

### 「知夫村」

赤ハゲ山は標高 325m の山で、頂上の展望所からは視界を遮るものがなく、360 度、島前、島後の島々、はるか大山や島根半島も望めることができ、岩石の風化の進んだところでは赤褐色の土が露出しているところを見ることができます。このように周りに木々がなく土が赤くなっているところから赤ハゲ山と呼ばれています。

5 月は山一面に野大根の花が咲き、ピンクのじゅうたんを敷き詰められたように見えます。また、山頂近くの稜線には、牧畑の境界のために作った石垣が残っており、名垣と称しています。



赤ハゲ山と野ダイコン

「知夫村観光振興課」

## 隠岐ジオパークを知ることのできる施設の紹介

### 「隠岐の島町」



隠岐の島町 隠岐自然館

隠岐ポートプラザ館2階にある隠岐自然館は、隠岐島の成り立ちや自然環境（動物、昆虫、植物、海洋生物、岩石）を紹介する展示施設です。隠岐ジオパークセンターも併設していますので、隠岐ジオパークについて分かりやすく学習することができます。ぜひ、ご来場ください。

- 住所：隠岐の島町中町 隠岐ポートプラザ館2階（西郷港から徒歩1分）
- TEL：08512-2-1583
- 入館料：大人300円、小人150円  
（隠岐ジオパークセンターは無料です）
- 開館時間：8：30～17：30

### 「隠岐の島町観光課」

## 保全活動の紹介

### 「西ノ島町」

西ノ島町では、5月5日（日）に「<sup>まきはた</sup>牧畑を後世に伝える会」主催で合垣<sup>あひ</sup>と呼ばれる石垣周辺の草刈りボランティア作業が行われました。今回は、とび入りの方も含めて28名の参加者があり、作業後は、口村光房さん（西ノ島ふるさと案内人）による昔の牧畑や隠岐ジオパークについてのミニ学習会も開催されました。

牧畑は、土地を牧と呼ばれる区域に分け、麦・大豆・小麦・粟<sup>あわ</sup>などを1年ごとに栽培し、4年目に牛馬を放牧して一巡させる輪転式<sup>りんてんしき</sup>農法で、昭和40年代ごろまで主に島前で行われていました。急こう配で表土が薄く、栄養に乏しい土地を有効に活用する優れた工夫です。今では、山の上に残る合垣が当時の名残を残しています。

### 「西ノ島町教育委員会」



牧畑の合垣を修繕している様子

## 隠岐ジオパークを支える団体の紹介

### 「隠岐ジオパーク戦略会議」

隠岐ジオパーク戦略会議は、隠岐の魅力を伝えるガイドや講師を育成するための組織です。主な業務は、島内を対象とした隠岐ジオパーク体験（バスツアー、山登り、シーカヤックなど）の企画実施、研究者への対応、シーカヤックやエコツアー（山登り、遊歩道巡り）などといった観光サービスの提供です。毎日、色々な人と隠岐を巡っては、隠岐に関する様々な視点や魅力を発見します。学校の生徒達は、知らなかった隠岐を体験して驚きますし、それは生徒たちの記憶に残ります。公民館活動で行うバスツアーでは、思い出話に花が咲きますし、昔の隠岐の様子を知る機会にもなります。研究者は、隠岐の道を知らないのので、道案内をすれば最新情報を教えてくれます。



シーカヤックの活動様子

また、観光客の方は様々な要望を持っています。ゆっくり休んだり、食事を楽しみたい人もいれば、海や山で遊びたい人もいます。親子連れの方には、子供に自然体験させて強い子供を育てたいという願望を感じますし、退職して、趣味で全国の山に登っている人や釣り好きの人も隠岐を訪れます。隠岐の話をするれば、沢山の人が興味を持ちますが、そこで具体的に何ができるのかという仕組みに関して、隠岐のイメージは、まだ漠然としています。隠岐ジオパーク戦略会議の役割は、以上のような様々な機会を1つ1つ商品や仕事として整理し、魅力ある隠岐のイメージを具体的な形として創り出すことだと感じています。

### 「隠岐ジオパーク戦略会議」

TEL 08512-3-1005

ご意見がありましたら問い合わせ先までお願いします。

（問い合わせ先） 住所 〒685-8601 隠岐郡隠岐の島町港町塩口24番地  
隠岐ジオパーク推進協議会事務局（隠岐支庁県民局内）  
TEL 08512-2-9636 FAX 08512-2-9626

（編集）隠岐ジオパーク推進協議会 隠岐の島町 西ノ島町 海士町 知夫村（発行）隠岐ジオパーク推進協議会